

東京の商店街「立石仲見世」

葛飾柴又に行く手前、京成立石駅の近くにレトロな商店街がある。「立石仲見世」という 50 軒ほどの店が並ぶアーケード商店街である。このアーケードは 1960 年に設置された。とにかく昔のままの看板、歴史を感じさせる店など、なんとも言えない「味」がある。

両側に店が並ぶ狭い通りの商店街だが、それぞれの店に個性があり、つい立ち寄ってみたいくなる。美味しそうなマグロの店、お惣菜の専門店、おでんの種が豊富なかまぼこ店など、私の大好物が並んでいる。先にレポートした戸越銀座でも感じたが、東京の商店街は焼き鳥やミンチカツ、おでんの種や惣菜が店先に並んでいる。下町の商店街らしさを感じる。



この商店街で有名なのが、雑誌でも紹介されている「宇ち多」という飲み屋だ。1946 年の創業ということで、もつ焼きやもつ煮込みをつつき、一杯楽しめる店と紹介されている。じつはこの店が目当てで商店街を訪ねたが、開店の 1 時間前から行列ができていた。これには正直驚いた。残念ながら、時間の関係で今回は店に入るのを諦めた。

仲見世の反対側に「呑んべ横丁」がある。この大きな看板のように、夜には呑んべが集まるのであろうか。昼間なのに暗かった横丁の夜が気になった。また訪ねてみたい商店街だ。



(2008 年 3 月 1 日 記)